

レーザー光源搭載の内視鏡システム「LASEREO(レザリオ)」用内視鏡に新ラインアップ 上部消化管用経鼻内視鏡「EG-L580NW」

炎症の診断をサポートする、特殊光色彩強調機能「LCI」に対応

● 新発売 ●

平成 26 年 10 月 14 日

富士フイルム株式会社(社長:中嶋 成博)は、内視鏡のシステムにレーザー光源を用いた新世代内視鏡システム「LASEREO(レザリオ)」用内視鏡の新ラインアップとして、鼻からの挿入が可能な先端部径 5.8mm の極細径の上部消化管用経鼻内視鏡「EG-L580NW」を、10 月 23 日より富士フイルムメディカル株式会社(社長:新延 晶雄)を通じて発売いたします。

「LASEREO」は、波長の異なる「白色光観察用レーザー(白色光用レーザー)」と「狭帯域光^{※1} 観察用レーザー」の 2 種類のレーザーを搭載しています。白色光用レーザーを蛍光体に照射することで、通常の観察に適したスペクトル幅^{※2} の広い白色光を発光させ、自然な色の画像をモニター上に再現することができます。また、「狭帯域光観察用レーザー」は、波長が短いスペクトル幅の狭い光であり、この光を照射することによって、粘膜表層の微細血管やわずかな粘膜の凹凸などのコントラストを強調して画像をシャープに映し出すことができ、微小な病変を観察するのに適しています。「LASEREO」は、平成 24 年 9 月の発売以来、特に早期がんの特徴的な粘膜表層の微細血管などの変化を観察できるとして高い評価をいただいています。

今回発売する「EG-L580NW」は、このような「LASEREO」特有の観察が可能な上部消化管用経鼻内視鏡です。鼻から内視鏡を挿入することで、咽頭反射による嘔吐感を軽減することができます。また、内視鏡先端から照射される照明光のバランスを見直し、画面周縁部までより明るい画像を提供し、視認性を向上させています。

さらに、本内視鏡で撮影した画像には、赤色領域のわずかな色の違いを画像処理で見やすく表示する「LASEREO」用の特殊光色彩強調機能「LCI(Linked Color Imaging)」を利用することができます。内視鏡による消化管粘膜の観察では、わずかな色の違いから正常な粘膜と炎症のある粘膜を見分けなければなりません。「LCI」は、粘膜色付近の彩度差・色相差を拡張する画像処理を行うことで、粘膜のわずかな色の違いを強調して表示し、炎症の診断をサポートします。

さらに、本内視鏡は、先端部径 5.8mm でありながら鉗子口径を 2.4mm と広くしたことで、体液などの吸引性能の向上を実現しました。また送気・送水管路構造の見直しにより内視鏡先端のレンズに付着した水滴が残りにくくなり、検査時の医師のストレス軽減や検査時間の短縮が期待されます。

富士フイルムは、新世代内視鏡システム「LASEREO」用の上部消化管用経鼻内視鏡「EG-L580NW」をラインアップに加えることで、経鼻内視鏡の更なる普及を図り、がんの早期発見に必要なスクリーニング検査の受診率・精度向上に貢献することを目指します。今後も、医療現場のニーズに応え内視鏡関連製品のラインアップを拡充し、医療の質や効率の向上、人々の健康増進に貢献していきます。



<上部消化管用経鼻内視鏡「EG-L580NW」>

※1 波長帯域の狭い光。「LASEREO」においては、粘膜表層の微細血管などを強調した画像観察用に使用。

※2 光の波長帯域のこと。

記

1. 品名

薬事販売名：電子内視鏡 EG-L580NW、薬事認証番号：226AABZX00070000

一般的名称：ビデオ軟性胃十二指腸鏡

その他の一般的名称：ビデオ軟性食道鏡、ビデオ軟性咽頭鏡、ビデオ軟性鼻咽喉鏡、ビデオ軟性喉頭鏡、ビデオ軟性口腔鏡

2. 発売日

平成 26 年 10 月 23 日

3. 標準ユーザー渡し価格

3,600,000 円(税抜)

4. 主な特長

(1) 波長の異なる 2 種類のレーザー光による病変観察が可能

- ・レーザー光源搭載の内視鏡システム「LASEREO」用として初めての経鼻内視鏡。
- ・従来モデルから搭載している、白色光での通常観察、分光画像処理機能「FICE[※]」に加え、狭帯域光観察用レーザーを照射して、粘膜表層の微細血管や粘膜微細模様などを強調処理して表示する「Blue LASER Imaging (BLI)機能」を搭載している「LASEREO」に対応しています。BLI 機能には、2 つのモードが用意されており、白色用と BLI 用のレーザー光の発光比率を制御し、観察目的や対象部位に応じて最適な照明モードへ使い分けが可能です。

※通常画像から分光画像(特定の波長で得られる画像)をリアルタイムに生成できる画像処理機能。自由に波長パターンを選択でき、よりコントラストの高い画像を得ることができる Flexible spectral Imaging Color Enhancement の略。

- ・粘膜色に近い色の彩度差・色相差を拡張する画像処理を行うことで、粘膜のわずかな色の違いを強調して表示して、炎症の診断をサポートする特殊光色彩強調機能「LCI」が使用可能。

(2) 鼻から挿入可能な先端部径 5.8mm の極細径

(3) 広い鉗子口径

先端部径 5.8mm でありながら、処置具を出し入れする鉗子口径は 2.4mm と広くしたことで、処置具が挿入しやすくなりました。また、内視鏡先端部から体液など胃内の液体の高い吸引性能を実現しました。

(4) 送気・送水管路構造の改良

送気・送水管路構造の改良により、内視鏡先端のレンズに付着した粘液などを送水して洗浄し、その水滴を送気によって吹き飛ばす際に、水滴が残りにくくなったため、検査時の医師のストレス軽減や検査時間の短縮につながることが期待できます。

5. 主な仕様

視野方向	0° (直視)
視野角	140°
観察範囲	3~100 mm
先端部径	5.8 mm
軟性部径	5.9 mm
湾曲角	UP:210° / DOWN:90° / RIGHT:100° / LEFT:100°
有効長	1,100 mm
鉗子口最小径	2.4 mm

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

(報道関係)	富士フイルム株式会社 コーポレートコミュニケーション部	TEL 03-6271-2000
(お客様)	富士フイルムメディカル株式会社 営業本部 マーケティング部	TEL 03-6419-8033
富士フイルム	ウェブサイト	http://fujifilm.jp/